

## 令和4年度 体力向上における各校の成果(小学校)

永平寺町

教育委員会

No	学校名		成 果
1	松岡	小学校	ワークシートによる指導と評価の一体化により、児童はめあてをもって授業に臨み、教師も評価の視点を意識しながら授業ができた。 また、タブレットを積極的に活用し、技能向上の一助となるよう指導した。低学年から高学年までICTを活用することで、体育の授業展開を工夫することができた。
2	吉野	小学校	スキー教室では、一人一人に合った指導で、多くの児童に技能の向上が見られた。 校内体育大会の一輪車演技ではすべての児童が技を成功させようと意欲的に練習に取り組み、目標を達成することができた。種目の見直しは概ね好評で、ほとんどの児童が楽しく参加できた。 器械運動・マラソン大会練習で、ICTを活用し、技術の獲得や体力の向上を図ることができた。
3	御陵	小学校	1年間を通して、継続的に「ねこちゃん体操」に取り組んだ。体力テストの結果を見ると、6年生は昨年よりも長座体前屈の平均値が1cmほど向上した。その他の学年でも柔軟性が高まり、マット運動につながる動きが良くなった児童が増えた。 また、ICT機器を活用したことで、自身の成長を捉えるとともに、児童同士の学び合いにも活用することができた。
4	志比	小学校	コロナ禍で活動が制限されていたが、学校全体で感染対策を講じながら、1年間を通して業間運動に取り組むことができた。そのため、持久力がつき、20mシャトルランにおいて全国平均値を上回った学年が多かった。
5	志比南	小学校	外部講師を招いて行った授業では、昨年度から継続して行ったことで、児童の特性や成長に合わせて楽しく活動しながら学ぶことができた。また、新たな技の習得や技能の向上につながりやすくなった。 異学年の交流を通して、高学年の技術の高さを目の当たりにし、憧れと目標をもって活動をする児童が増えた。長縄でも新記録を出す学年も出た。
6	志比北	小学校	体力テスト20mシャトルランにおいて、4年男子は9ポイント、6年男子は5ポイント前年の記録を上回った。 週二回の業間運動では、目標にしたタイムを上回ろうと努力する姿が見られ成果が出た。 柔軟体操の結果こそ体力テストでの伸びは少なかったが、低学年は、毎時間柔軟体操に加え、体幹を育成するリズム運動を続けたことでできる動きが増え、走る・投げる運動を楽しく取り組むことができた。
7	上志比	小学校	業間の時間を使い、5分間走やなわとびの練習をすることができた。5分間走では、年度当初より、5分間に走る距離が100m以上伸びた児童が増えた。昼休みなどを利用して走る児童もあり、体力を高めようという意欲が見られた。なわとびでは持久跳びの各学年目標をクリアする児童が増え、持久力が高まってきた。